

平成 26 年度 重点目標

1 学校教育目標

「豊かな心」と「確かな学力」を身につけ、「たくましく生きる」生徒の育成

2 重点目標

- ① 少人数集団の利点を生かした「わかる・考える授業」の展開で、基礎基本の徹底と活用の力の養成による確かな学力を育成するとともに、体育的活動の工夫による体力の向上を図る。
- ② キャリア教育や特別活動の充実により自己実現力の育成。
- ③ 道徳教育・安全教育・地域との連携により、豊かな心と生命の安全を守る態度の育成。
- ④ 保護者や地域との連携を深め、地域と共に生きる開かれた学校づくりの推進。

3 重点目標の具現化に向けて

重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標
確かな学力・体力	読み・書き・計算の徹底により、下位層の割合を年度内に半減する。	「チャレンジタイム」の充実を図る。	毎日2回の補充学習を国・数・英の持ち回りで実施。
	市・県・国テストにおいて全ての項目で県(市)平均を上回る。	「分かる・考える1時間完結型授業」を徹底する。	毎日の授業観察と全教職員学期2回以上の互見授業。
	生徒の自己評価において「授業の始まり2分前着席」「集合に遅刻しない」割合90%以上。	PTAと共に家庭での学習環境と時間を確保する。	学級懇談会での話し合いと情報の広報。
	体力テストにおいて県平均を上回る項目を80%以上。	授業や集会時の開始時刻を常に意識させる取り組みの徹底。	生徒のリーダー及び教職員において毎回点検・確認をする。
		全校一斉の体力向上タイムを定期的に確保する。	全校一斉での体力向上の取り組みを毎週2回実施。
自己実現力	「生き方」について親子で話す機会を持った家庭を90%以上。	生徒理解のための情報交換会を定期的に開催する。	月に1回、全教職員による情報交換会の開催。
	「自分のことが好き」「自分にはよいところがある」と回答する生徒を80%以上	キャリア教育の充実を図る。	関連指導の他、週に1回は短学活でテーマを選んで講話する。
		特別活動を充実させ、必ず振り返りを行う。	振り返りの中で、必ず自他を認め合う活動を入れる。
豊かな心	「いじめや差別がなく、安心して学校生活を送れている」と回答した生徒・保護者の割合を80%以上。	道徳教育を充実させる。	「道徳」の互見授業を学期1回実施。
	体験的活動が充実していると答える生徒の割合を90%以上。	地域と連携した特色ある教育活動を推進する。	地域と連携した体験的活動を年間7回以上実施する。
		自他の生命や安全への意識、及び奉仕の心を育む。	緊急時の対応の学習と避難訓練を2ヶ月に1回実施。
開かれた学校づくり	地域住民へのアンケートで、「学校の情報がよく分かる」と回答した割合を80%以上。	情報発信により、教育活動への理解を促す。	「学校だより」と「学級通信」を毎月1回以上発行。 学校公開日を年間10回以上実施。
	地域住民へのアンケートで、「生徒は熱心に地域での活動に取り組んでいる」と回答した割合を80%以上。	学校評価を学校改善に生かす。	校内評価委員会を学期末に開催し、全職員に周知。
		小・中連携教育を推進する。	校区内小学校との連携協議を定期的に行う。